

事業報告書

第8期

平成30年4月～平成31年3月分

社会福祉法人マイクロ福祉会

目 次

I. 理念	2 ページ
1. 沿革	
2. 組織	
3. 職員体制	
4. 法人及び施設の概要	
5. 法人役員（理事・監事・評議員）	
6. 平成 30 年度理事評議員会の開催状況	
7. 評議員選任・解任委員会	
8. 第三者委員	
II. 平成 30 年度事業活動報告	7 ページ
1. 法人事業報告	
2. 法人の主な取組	
・法人事務局の重点課題に対する報告	
・就職フェア等の参加状況	
・セミナー研修等の参加状況	
3. 特別養護老人ホームまごころ園 事業報告	11 ページ
サービス事業成果／特別養護老人ホーム	
（特別養護老人ホームの重点課題に対する報告）	
・入居者状況	
サービス事業成果／ショートステイ	
（短期入所生活介護（介護予防含む）の重点課題に対する報告）	
・利用者状況	
・年間行事企画	
・地域交流ホール開放状況	
・施設見学状況	
・ボランティア受入状況	
・実習受入状況	
・職員内部研修	
・職員外部研修	
・利用者状況	
サービス事業成果／居宅介護支援	19 ページ
（居宅介護支援事業所の重点課題に対する報告）	
・利用者登録状況	
・職員研修、勉強会	

I. 理念

基本理念

心はずむ・やさしさの輪

事業理念

私たちは、高齢者とそのご家族（お客様）に、ま心を添えた最適なサービスを提供し、お客様のライフスタイルを第一に考えたサービスの実現を安定的に継続させ、豊かな地域社会の発展に寄与します。

行動指針

私たちは、一流の介護スタッフとして進んで働きます。

高齢者（お客様）の尊厳を遵守し、5つの指針を実践します。

1. お客様が自立されることを望み、喜びとします。
2. お互いが感謝の念を持ち、安心・安全な介護サービスの提供を行います。
3. 挨拶からスタートすることを大切にし、明るく楽しい空間を創造します。
4. 個性の尊重と信頼し和える人間関係で、環境の改善に努めます。
5. 積極的にトライし、新しい価値を生み出します。



私たちは、仕事を通して夢と希望と幸せを追求します。

事業指針 7つの約束

ご利用者様へ

1. 安心・安全を安定して提供する
2. 快適な生活感を演出する
3. 楽しみと感動を創造する

スタッフ同士で

4. やる気を尊重する
5. コミュニケーション能力を高める
6. 地域社会へ参加し貢献する

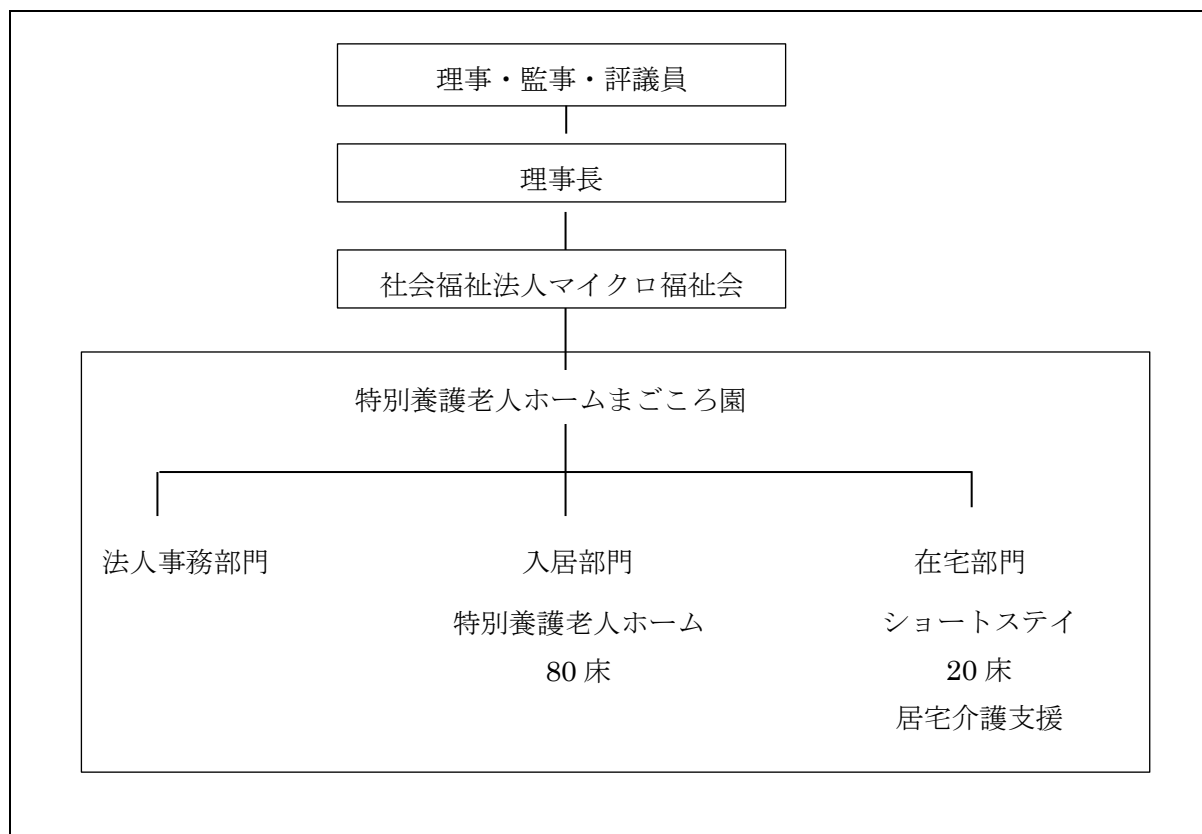
すべてに

7. 感謝の念を持つ（ま心、心を添えて）

1. 沿革

年	月	歩み
2011年 (平成23年)	12月13日	社会福祉法人マイクロ福祉会 設立
2012年 (平成24年)	1月15日	第1期開始 第1回理事評議員会の開催 理事長 三浦靖憲 就任
2012年 (平成24年)	12月27日	特別養護老人ホームまごころ園 開設 (特養80床 ショートステイ20床(予防含む))
2013年 (平成25年)	12月16日	第2期 理事評議員会の開催 理事長 伊藤弘子 就任
2014年 (平成26年)	12月22日	公益事業 居宅介護支援事業 認可 まごころ園居宅介護支援事業所として開設

2. 組織



3. 職員体制 (常勤職員：62名、非常勤職員：36名)

<法人事務局部門>

職種	人数	常勤 / 非常勤	専従 / 兼務
事務局長	1名	常勤	兼務
事務局次長	1名	常勤	兼務
事務職員・宿直者	7名	非常勤	兼務

<入居部門(特別養護老人ホーム)>

職種	人数	常勤 / 非常勤	専従 / 兼務	
管理者<施設長>	1名	常勤	兼務	
施設課長	2名	常勤	兼務	
生活相談員	1名	常勤	兼務	
介護支援専門員	2名	常勤	専従	
管理栄養士	1名	常勤	兼務	
介護職員	58名	8名	常勤(ユニットL)	専従
		30名	常勤	専従
		20名	非常勤	専従
医師	2名	非常勤	兼務	
看護職員	6名	2名	常勤	兼務
		4名	非常勤	兼務
機能訓練指導員	6名	2名	常勤	兼務
		4名	非常勤	兼務

<在宅部門(ショートステイ)>

職種	人数	常勤 / 非常勤	専従 / 兼務	
管理者	1名	常勤	兼務	
生活相談員	4名	常勤	兼務	
管理栄養士	1名	常勤	兼務	
介護職員	14名	2名	常勤(ユニットL)	専従
		6名	常勤	専従
		3名	常勤	兼務
		3名	非常勤	専従
医師	2名	非常勤	兼務	
看護職員	6名	2名	常勤	兼務
		4名	非常勤	兼務
機能訓練指導員	6名	2名	常勤	兼務
		4名	非常勤	兼務

<在宅部門（居宅介護支援）>

職種		人数	常勤 / 非常勤	専従 / 兼務
管理者		1名	常勤	兼務
介護支援専門員	3名	1名	常勤	兼務
		2名	常勤	専従

4. 法人及び施設の概要

所在地 京都府宇治市菟道藪里 11 番 3

名称	概要
社会福祉法人マイクロ福祉会	理事長 伊藤 弘子 (平成 25 年 12 月 16 日就任) 副理事長 伊藤 真也 (平成 27 年 12 月 16 日就任) 事務局長 内藤 真 次長 野口 健也
特別養護老人ホームまごころ園 特別養護老人ホーム	施設長 水口 泰貴 事業 ユニット型介護老人福祉施設 定員 80名/8ユニット
特別養護老人ホームまごころ園 ショートステイ	管理者 田中 亜沙美 事業 ユニット型短期入所生活介護 (予防) 定員 20名/2ユニット
まごころ園居宅介護支援事業所	管理者 西田 佳史 事業 居宅介護支援

5. 法人役員（理事 6 名・監事 2 名・評議員 7 名）

役員名	氏名	役員名	氏名
理事長	伊藤 弘子	評議員	内川 中彦
副理事長	伊藤 真也	評議員	奥西 隆三
理事	高辻 滋	評議員	木島 敦
理事	新谷 昭	評議員	高林實結樹
理事	北村 善宣	評議員	福井 輝夫
理事	水口 泰貴	評議員	山崎 絹子
監事	堤 武彦	評議員	萬 守
監事	池本なら義		

※敬称略及び順不同

6. 平成30年度理事評議員会の開催状況

理事会	5月23日	10月12日	3月13日
出席理事	6/6名	6/6名	6/6名
出席監事	2/2名	2/2名	1/2名
議題	1. 事業報告 2. 決算報告 3. 経理規程 4. 役員賠償補償 5. 評議員会招集 報告	1. 定款変更 (地上権設定) 2. 評議員の招集	1. 事業計画 2. 事業予算 3. 就業規則 報告

評議員会	6月12日	10月29日	—
出席評議員	6/7名	7/7名	—
議題	1. 事業報告 2. 決算報告 (充実計画) 3. 役員賠償補償 報告	1. 定款変更 (地上権設定) 2. 評議員の招集	—

7. 評議員選任・解任委員会 (監事2名・事務局1名・外部委員2名)

委員名	氏名	委員名	氏名
外部委員	村上 晶子	外部委員	米田 宜正

8. 第三者委員

委員名	氏名	委員名	氏名
第三者委員	村上 晶子	/	/

Ⅱ. 平成30年度事業活動報告

1. マイクロ福祉会 法人事業報告

今年度は、昨年度に引き続き、3事業〔特別養護老人ホーム・ショートステイ・居宅介護支援事業〕とも、事業活動収支が前年を上回る結果となった。これにより、総事業活動収入は、初めて500,000千円を超え、対予算(+22,365千円)と大きく上回ることが出来た。中でも特別養護老人ホームは、収入390,321千円(対前年比+15,376千円)収益17,261千円(対前年比+9,954千円)と、大きく上回った。要因としては、中重度者の受入れを重ねることにより、平均要介護度が3.7近くと上がってきたことや、入院者予防対策が要因の一つと考えられる。

ショートステイも同様に、高稼働を維持出来た。緊急受入や長期利用者の対応など年々様々な利用ニーズに対応出来てきたのではないかと。また、ご利用者様の撮影された写真展を企画するなど、新たなチャレンジを企画していけるチーム力も人気を呼んでいるように見受けられる。

居宅介護支援事業は、主任介護支援専門員を含む3名体制の中、1年を通じ、安定的に地域に於ける介護相談やプランナーとして、地域に根差してきたように思える。

今後の課題としては、世間同様、人員の確保ということになる。特別養護老人ホームを例にあげると、上記に触れた中重度者受け入れは、車椅子介助者、食事及び排泄介助者が増える傾向にあり、職員配置人数を増やしていかなければ、施設が回らないといった状況が見られるようになってきている。働き方改革による時短労働者の雇用や外国人技能実習生受入れの検討を進めるなどをして、対策を講じたい。

また、2025年問題に向け、地域包括ケアシステムの基盤作りや、地域に於ける社会福祉事業の在り方など、多くの研修会参加を通じ、取り組みを行ないたい。

その他、主な取組みは以下のとおりである。

2. 主な取組み

4月 入職式

今期は3名の入職があり、盛大にお祝いした。

京都府知事選挙

投票所へ行く事が困難な特養ご利用者様に対し、園内での不在者投票が実施された。

宇治市第一次予防事業に於けるホールの開放

宇治市第一次予防事業開催地として、当園「地域交流ホール」を開放している。あたまイ

キイキ教室や歌笑会は、大変盛況で、昨年を上回る人数が集まった。また、イキイキ教室からは、それぞれ3期に渡りOB会が発足され、当園を利用された。

5月 ストレスチェックの実施

雇用契約者を対象とした、ストレスチェックを実地した。数名が産業医の受診を希望し、労働局へ定期報告を行なった。

6月 第4回定例事例発表会

宇治商工会議所で市民向けに、家庭で使える介護技術の実演とユマニチュードの成果発表会を実施し、総勢120名の方が集まった。

7月 まごころ園夏祭り

気温40℃の猛暑により、中止も検討されたが、エアコンが完備された地域交流ホール内に限定することによって、第5回まごころ園夏祭り実行委員会が中心となり開催された。昨年に引き続き、実行委員長は理事高辻滋氏が中心となり、総勢約40名の実行委員のご協力を得ることが出来た。涼しい中、夏祭りが盛大に行われ、ご利用者様やご家族様、地域の方々を交え、模擬店や催し物で楽しい一日となった。

9月 まごころ園敬老祝賀式

第6回の敬老祝賀式が開かれた。式典では、来賓に京都府山城北保健所企画調整室室長や、宇治市健康長寿部部長から、それぞれ祝辞を頂いた。また、祝いの記念品や表彰状が贈られた。

11月 宇治福祉まつり参加

今期、初めて宇治福祉まつりに出展した。大勢の地域の方から声を掛けて頂き、実りあるイベント参加となった。

1月 宇治新春福祉のつどい参加

宇治における福祉関係者・事業者が集まる会へ、今年も参加した。

法人事務局部門目標

【課題1】社会福祉法人をめぐる制度動向への対応

全国経営協、京都府老人福祉施設協議会、近畿老人福祉施設協議会などへの参加を通じて、社会福祉法人制度改革に於けるその後の動向に対応することが出来た。中でも新設加算要件などの対応策を図るなど、売上の向上、収益の安定に繋げることが出来た。将来の社会福祉充実残額の事業計画策定に繋げるよう一層努力していきたい。

【課題2】新卒者の採用5名

各就職フェアへの積極的な出展や各種大学や専門学校へ挨拶回り、園で実習生の受入れを実施するが新卒の採用に至らなかった。しかし、今期は、求職者（中途採用者）の施設見学希望の問合せが前年度より多く、中途採用者の面接が採用予定数を上回ったため、新卒採用に頼らなくとも人員が確保出来たことは幸いであった。

【課題3】地域とのふれあい

猛暑による涼やかスポットの開催により、地域の高齢者や子供さんが涼みに来られた。秋にはご利用者様の力作による、塗り絵、貼り絵、手芸などを展示した文化祭が企画され、多くの来場があった。

<就職フェア・求職者との交流会の参加状況>

実施月	内容	主催
6月	FUKUSHI 就職フェア	京都府福祉人材・研修センター
9月	きょうと介護・福祉職場面接会	京都府福祉人材・研修センター
2月	きょうと介護・福祉職場面接会	京都府福祉人材・研修センター
3月	FUKUSHI 就職フェア	福祉職場就職フェア実行委員会 (京都府福祉人材・研修センター)

<セミナー・研修等 参加状況>

実施月	研修名	主催
5月	京都府老人福祉施設協議会 総会研修会	京都府社会福祉施設協議会
7月	近畿老人福祉施設協議会 奈良大会	近畿老人福祉施設協議会
8月	京都府社会福祉法人経営者セミナー 社会福祉法人運営管理職員研修	京都府社会福祉法人経営者協議会 京都府社会福祉法人経営者協議会
9月	全国認知証グループホーム大会	全国認知証グループホーム協会
10月	京都府社会福祉法人経営者セミナー	京都府社会福祉法人経営者協議会
11月	全国社会福祉法人経営青年会 京都大会 京都府高齢者福祉研究大会	社会福祉法人全国社会福祉協議会 京都府老人福祉施設協議会
1月	京都府社会福祉法人経営者セミナー 宇治市新春の挨拶 新春福祉のつどい	京都府社会福祉法人経営者協議会 宇治市 宇治市社会福祉協議会
2月	山城北ブロック長会議・研修会 宇治久世医師会健康長寿フェス	京都府老人福祉施設協議会 宇治市・宇治久世医師会
3月	京都府社会福祉法人経営青年会研修会 賛助会員交流会	京都府社会福祉法人経営青年会 介護労働安定センター

3. 特別養護老人ホームまごころ園 事業報告

○サービス事業成果 /特別養護老人ホーム

特別養護老人ホームの重点課題に対する報告として

【課題1】 入居利用率 99% 稼働率 95% 現状の算定加算項目の継続

年間入居率 99.2%、年間稼働率 97.2%、平均要介護度 3.73 であった。加算項目は継続して算定できており、さらに、今年度の報酬改定に伴って新設された加算の算定も行った。年明け以降、体調の悪化に伴う入院等が続き、退居が連続した。毎年、冬季あたりにこの傾向が見られるので、継続して入居待機者を確保する体制の維持と、適切な援助による入院者の減少に努めていく必要がある。

【課題2】 介護サービス事業所としての専門性の向上と、それによる重度化対応やリスクマネジメントの徹底

今年度も、定期的に内部研修の開催と外部研修への参加を実施することで、職員の質の向上を図ることができたと感じる。

事故・ヒヤリハット報告が増加しているが、「気づき」の多さによるものであると京都府による施設指導監査でも評価された。次の段階として、それらの報告に対する対応策の内容の成熟と、その実施にいかにか確実に取り組み続けられるかが課題である。毎年、高齢者介護施設における虐待や感染症による死亡等の報道が続いており、ご利用者様及びご家族様に不安を与えている。当園は開かれた事業所として、地域の皆様に情報発信の機会を今後も持つ必要がある。

【課題3】 看取り介護の実施

看取り介護の実施事例から、書類やルールに更なる改善点があることが表出している。それらの改善により、ご利用者様やご家族様、さらに職員が、「まごころ園で過ごせてよかった」「看取れてよかった」と、後悔なく振り返ることのできる体制を構築していく必要がある。

<入居者状況> (定員：80名) (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

期首在居	期中入居	期中退居	期末在居	期中延数 (外泊含まず)	1日平均 在所数	在籍中 入院延数
79	20	20	79	28,329	77.6	622

<年齢別/男女別> (平成31年3月31日現在)

	男性	女性	計
40歳～64歳	0	0	0
65歳～69歳	0	0	0
70歳～74歳	0	2	2
75歳～79歳	0	2	2
80歳～84歳	3	13	16
85歳～89歳	1	21	22
90歳～94歳	2	23	25
95歳以上	0	12	12
合計	6	73	79

最高齢：103歳 平均年齢：88.5歳

<介護度別/男女別>

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男性	0	1	1	2	2	6
女性	0	7	24	25	17	73
計	0	8	25	27	19	79

平均要介護度：3.7

○サービス事業成果 / ショートステイ（短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護）

短期入所生活介護（介護予防含む）の重点課題に対する報告として

【課題1】 稼働率90%以上の継続

毎月稼働率90%以上を継続することは出来なかったが、年度の平均として前年度同様の稼働率88%をキープする事はできたが、ロング利用予約の急なキャンセルの穴埋めに苦戦したことが課題未達成の原因と考える。直近の空き状況が明確に伝える方法を工夫し、キャンセルを見越した営業に力をいれていく。

【課題2】 ケアの質の向上

日々、介助方法の確認は行えているが、全職員に同じ内容が周知・徹底までできなかった。会議を実施し、介護方法や送り方法を再検討し、ご利用者様個々の介助方法の質をあげ、利用期間が長期間空いても、質の高いケアが継続して行えるようにしていきたい。

【課題3】 まごころ園ショートステイならではの売りの強化の継続

概ね達成に近い状態ではあるが、レクリエーション内容にマンネリがあることと、特定の職員に片寄り、業務中心の状態から抜け出せてない状態であった。企画日は協力して行えていることから、日々も同じように連携してご利用者様と関わる時間を増やしていく必要がある。

<利用状況> (定員：20名) (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

区分	介護						予防			合計
	要介護5	要介護4	要介護3	要介護2	要介護1	小計	要支援2	要支援1	小計	
利用延日数	227	1,324	1,529	2,193	1,035	6,308	147	6	153	6,461

※契約件数・・・平成31年3月31日現在、538件（うち利用件数142件）

<利用者年齢>


	男性	女性	計
40歳～64歳	1	0	1
65歳～69歳	1	0	1
70歳～74歳	3	5	8
75歳～79歳	4	8	12
80歳～84歳	10	19	29
85歳～89歳	8	22	30
90歳～94歳	9	25	34
95歳以上	6	21	27
合計	42	100	142

<介護度別/男女別>

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男性	0	1	9	14	10	8	0	42
女性	2	4	19	33	24	13	5	100
計	2	5	28	47	34	21	5	142

<年間行事企画>

月	今期活動結果	内容
4月	お花見	花見ドライブ
7月	夏祭り(まごころ園夏祭り)	 
9月	敬老祝賀式	 
10月	運動会	ユニット対抗運動会
12月	クリスマス会・忘年会	ユニットクリスマス会

2月	節分（恵方巻き作り）	
----	------------	--

<地域交流ホール（地域包括ケア連携相談室）開放状況>

開放先	内容	回数
地域の方 地域の高齢者	宇治市予防事業 高齢者涼やかスポット （映画上映会／演奏会／夏祭り 等） 介護の日イベント（文化祭）	1～2回／月 2日間 1日間
宇治幼稚園 地域のサークル	園児との交流会（6月・10月） ヨガサークル	2回／年 2回／月

<施設見学状況>

団体名	延べ人数	内容	回数
就職希望者向け施設見学	12	施設見学・概要説明 等	9

<ボランティア受入状況>

団体名	年間回数	1回当り 来所人数
爽快治療院	11	2
宇治声香クラブ	1	6
明星の会	1	5
水田恵子様	1	1

<実習受入状況>

団体名	実習内容	年間回数	参加延人数
京都医療福祉専門学校	社会福祉士実習	3	6
京都栄養医療専門学校	管理栄養士実習	1	1

<職員内部研修>

実施月	研修内容	講師
4月	理念研修 就業規則・法令遵守 社会福祉法人とは・社会人の常識 虐待防止・身体拘束排除 事故対策・苦情対策 介護技術・認知症 介護保険・ケアプラン 法令遵守	理事長・副理事長 事務局長・事務局次長 施設長 施設長 相談援助主任 施設課長 施設課長 施設課長
5月	事故発生防止・再発防止	施設課長
6月	嚙下障害 認知症	株式会社明治／フェリス薬局 施設課長
7月	接遇・マナー	キャノン
8月	虐待・身体拘束排除 普通救命講習	施設課長 宇治市消防本部
9月	食中毒予防及び蔓延防止	フェリス薬局
10月	感染症予防及び蔓延防止	フェリス薬局
11月	事故発生防止・再発防止	東京海上日動／KRC
12月	成年後見制度・相続・遺言 事故発生等緊急時対応	リーガルサポート 施設課長
1月	褥瘡予防	看護主任
2月	虐待防止・身体拘束排除	施設課長
3月	看取り介護・緊急時対応	施設課長

<職員外部研修>

実施月	研修名	主催
5月	新任職員研修	京都府老人福祉施設協議会
	採用力向上研修	京都府福祉人材確保総合事業
6月	集団指導	京都府
	誤嚥性肺炎の予防・食事介助の注意点	宇治病院
	改定の重点課題でケアマネジャーに求められるもの	宇治市福祉人材研修事業
	中堅職員研修	株式会社エイデル研究所
	施設看取り研修	京都府老人福祉施設協議会
7月	高齢者虐待防止トレーナー養成基礎研修会	京都府老人福祉施設協議会
	指導職研修	株式会社エイデル研究所
	施設看取り研修	京都府老人福祉施設協議会
	施設看取り研修	京都府老人福祉施設協議会
	介護報酬改定（栄養関係）	京都府栄養士会
8月	ディズニーで教わった感動のサービス	チームふくしま関西支部
	未来の地域福祉を考える共働プロジェクト勉強会	宇治市福祉サービス公社
9月	日本認知症グループホーム全国大会	日本グループホーム協会
10月	中堅職員研修	京都府老人福祉施設協議会
	褥瘡予防	京都府山城北保健所
	アンガーマネジメントの使い方	京都府社会福祉協議会
11月	管理職研修	株式会社エイデル研究所
	職場内教育の方法 実践と理解	老健おおやけの里・辻氏
	新任職員研修（中途向け）	株式会社エイデル研究所
	福祉避難サポートリーダー養成研修	京都府山城北保健所
	介護報酬改定（栄養関連）に関する実践研修会	京都府栄養士会
	京都府高齢者福祉研究大会	京都府老人福祉施設協議会
12月	管理職研修	株式会社エイデル研究所
2月	宇治市介護相談員派遣事業三者連絡会議	宇治市
3月	宇治市要介護認定調査員研修会	宇治市介護保険課
	高齢者虐待防止トレーナー養成フォローアップ研修	京都府老人福祉施設協議会
	認知症フォーラム in 宇治	れもねいど事務局

○サービス事業成果 / 居宅介護支援事業所

居宅介護支援の重点課題に対する報告として

【課題1】 担当ケース数 35 件/人を維持する

契約ベースで、年間の平均が要介護 95 件, 要支援 33 件の計 128 件となっており、一人あたりも 35 件以上となっている。ただ、夏頃までは終了ケースも少なく新規依頼もある程度断ることもあったが、秋頃から急に終了ケースが増え、その後に新規受け入れを本格化させたこともあり、冬の時期は受持ちのケースが若干少なくなっていた。ただ、現在も 3~4 包括との関わりは継続して持つようにしている為、来年度は過去の終了件数等を見ながら、予測で新規ケース獲得の為に営業を行い、年間を通して一定数の件数が維持できるよう努める。

【課題2】 職員の質を向上すると共に、特定事業所加算を継続して取得する

特定事業所加算の維持に必要な、毎週の会議や法令遵守記録の作成を欠かさず行っており、職員の質の向上の為に、研修計画を基に都度研修にも参加した。担当者会議やモニタリングも実施し、減算対象にもなっていない。本年度は居宅や個人の質の向上の為に、自主点検を全員で行い、外部の研修以外にも事業所内交代で講師となり、必要な研修を実施した。今後も都度必要な研修にはできる限り参加していくと共に、特定事業所加算の取得が継続できるよう、必要な内容を継続して行っていく。

【課題3】 地域の方々や医療機関、行政や包括等と連携を図っていく

本年度も、地域ケア会議には必ず職員が参加し、ケースの内容ごとに地域の方々とも連携を図り、また困難事例等の時には、包括や行政と連携を図りながら対応を行った。平成 30 年度の介護保険制度改正で医療機関との連携強化の内容もあり、昨年度よりもご利用者様の情報交換や入退院時の連携等を多く持った。今後ご利用者様の生活を、できる限り切れ目なく過ごして頂けるよう、医療機関や行政等と連携を図っていく。

<利用者状況>

期間	利用者数	
	要介護	要支援
平成31年3月31日 現在	95件	34件

<職員内部研修>

実施月	研修実施内容
4月	認知症ケアについて
5月	倫理及び法令遵守について
6月	プライバシー保護・人権について
7月	感染症について
8月	救急救命講習、自主点検
9月	高齢者虐待について
12月	成年後見制度・相続・遺言について

<職員外部研修>

実施月	研修実施内容
5月	宇治市の行政施策とインフォーマルサービス
6月	ケアプランの見直し
7月	ケアマネジャーと共に進める住環境作り 第1回ケアマネジメントに関するに関する勉強会
8月	認知症、その人らしさを支えるケアとは
9月	第1回小地域包括ケア会議 認知症診断とケアに生かす
10月	精神疾患の理解とそのケア 成年後見制度について 認知症診断とケアに生かす神経心理学的評価 第2回ケアマネジメントに関するに関する勉強会
11月	第2回小地域包括ケア会議 第3回合同勉強会
12月	高次脳機能障害について 神経筋難病研修会
1月	第3回小地域包括ケア会議 法改正後における実地指導対策セミナー 認知症と間違いやすい疾患についての研修
3月	平成30年度介護保険要介護認定委託調査員研修 障害者福祉サービスと介護保険サービスとの連携